

＝現場実習＝

6/5(月)から6/16(金)までの2週間、高等部では「現場実習」がありました。この現場実習は、高等部の生徒が卒業後の進路を決定する上で、とても重要な学習です。実習は、大きく分けて2種類あります。外部の事業所等で行う校外実習と校内で行う校内実習です。

校外実習は、主に3年生(2年生で行う生徒もいます)が自分の希望と適性を考慮しながら、卒業後の生活を想定して各事業所等で行います。生徒の状況によって、A型・B型等の事業所や生活介護等の施設など様々な場で行われます。そのため、生徒によっては、一人でバス等の交通機関や自転車通勤します。生徒の中には、「バスの中で寝てしまわないか心配」とか、「周りの人たちとうまくやれるかな」など、不安もあったようです。私も各事業所で実習の様子を見学しましたが、生徒たちはそのような不安の中、事業所の職員の皆さんの話をしっかりと聞いて真剣に取り組んでいました。

校内実習は、主に1年生と2年生が行います。こちらは各事業所等から発注いただいた請負作業が中心です。各事業所等で扱う商品の請負ですので、ミスは許されません。生徒もそのことをよく分かっていて、こちらもいつもにも増して真剣な表情で取り組んでいました。

生徒はこの実習をとおして、自信や反省等様々な感想を持ったようです。この経験を生かして更に学校での学習を深めていくものと思います。

本実習に御協力いただきました各事業所の皆様には大変お世話になりました。どの事業所も実習の意義を御理解くださり快く生徒を引き受けていただきました。また、この実習を行う中で、学校としての新たな課題も見えたように思います。反省を今後の学校での学習と次回以降の現場実習に生かしていきたいと思っております。ありがとうございました。